

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 講座 No. 25207

1. 開設大学	安田女子大学	開講場所 (キャンパス・施設)	安東キャンパス
2. 講座名	環境問題を巡る国際協力のあり方・食のサイエンス		
	学問分野	番 号	42・44 名 称 国際関係・食物
3. 担当教員	青木克仁、田中由美子（家政学部生活デザイン学科）		
4. 開講期間・回数 曜日・時間帯	平成 26 年 8 月 4 日（火）～ 8 月 4 日（火） 9 時 40 分 ～ 14 時 30 分		
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 / 4 回目 / 5 回目 / 6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 / 10 回目 / 11 回目 / 12 回目 /
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 / 16 回目 /
5. 募集人数	30 人 * サテライトキャンパスの場合は 50 人以下を原則とします。		
6. 講座内容・ 講座計画	【午前】食に関わるサイエンスを理解した上で調理を行うことは、気に入ったメニューを失敗なく再現することを可能にし、他のメニューへの応用力を身につけることにもつながります。今回は食の実習を通して、日ごろ何気なく行っている調理工程の意義を理解しつつ楽しく調理・試食し、レパートリーを広げるきっかけにしていなければと考えています。 【食:ピザ、レモンマフィン作り】 イーストを用いたピザ、卵白の起泡性を生かしたレモンマフィンを作り、「膨化」の仕組みとコツについて学びます。また、ピザの具材にほうれん草とジャガイモを用い、普段、何気なく行っている「ゆで調理」の過程における色素の変化、栄養素の損失について学びます。 【午後】多国籍大企業、先進諸国と資本形成の主要機関による所謂「上からのグローバル化」は、謂わば「地球」そのものを敵に回すような暴走を開始してしまいました。人類の生存基盤そのものを破壊するような、気候変動をはじめとする様々な環境問題に対処するために、「下からのグローバル化」が、まさに民衆レベルの結集によって起きています。この講義では、環境問題を巡る国際協力のあるべき形を模索します。 【環境:国際協力はなぜ重要かを理解する】 環境問題を巡る国際協力の重要性を、思考実験（頭の中で行う実験）を通して、理解します。 是非、議論に参加してください。考え方を一緒に学んでいきましょう。		
7. 受講料			
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等)		
9. 開講条件※1 あり・なし	① 最少開講人数（ 人）定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月17日(金)以前の開講科目は3月末まで／7月18日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	(受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献、集合場所、持参物、開講最低人数等、特記すべきこと) 女子に限る 持参物：エプロン（できれば調理実習用）、三角巾（またはバンダナ）、上履き（または体育館シューズ）		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。